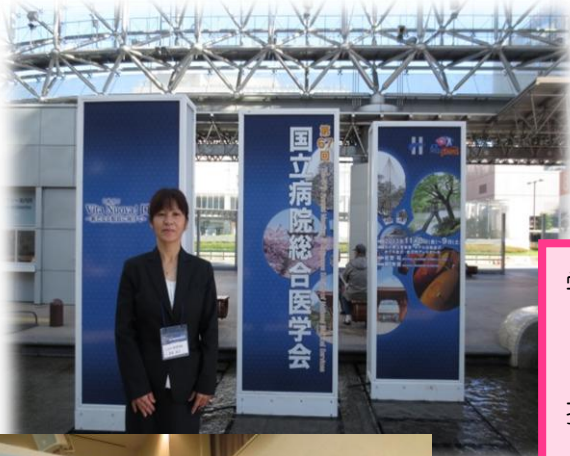


「第67回国立病院総合医学会」(金沢市)に参加してきました

11月8日(金)～9日(土) 開催

今年の国立病院総合医学会は金沢で行われ、秋も深まる兼六公園の木々は、赤や黄色に染まり、針葉樹類は冬支度をしていました。



学会へは当院から3題の発表をしました。

私は「慢性内科病棟における看護スタッフの腰痛の現状把握と不安—始業前の腰痛体操をおこなって—」というテーマで発表をしました。

私は現在、内科と小児科の混合病棟で勤務しています。病棟の看護スタッフの半数以上が腰痛をかかえています。研究では、始業前の腰痛体操（ストレッチ）をおこなう事で腰痛と不安の軽減について変化があったかを検証しました。結果、腰痛予防の意識付けに繋げる事ができました。

今回、重症心身障害児（者）病棟でも「腰痛」をテーマに発表しており、腰痛予防の重要性を再認識しました。



院内認定重症心身障害児（者）専門看護師の取り組みの中で、「漏れのない、おむつの当て方について」取り組んでいます。研究の結果の中でも、腰に負担がかかるケアに「更衣」が上がっていました。漏れにより更衣をおこなう事は、患者さんに苦痛を与えるばかりではなく、看護スタッフの腰への負担にもなります。おむつのサイズや当て方を工夫する事で漏れが少なくなったケースもありました。

今後も、患者さんにとってより良い看護を目指すと共に、看護スタッフが働きやすい職場になるよう頑張りたいと思います。

院内認定重症心身障害児（者）専門看護師

副看護師長 富澤純子